

News Release

平成27年 4月23日
N I T E (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構

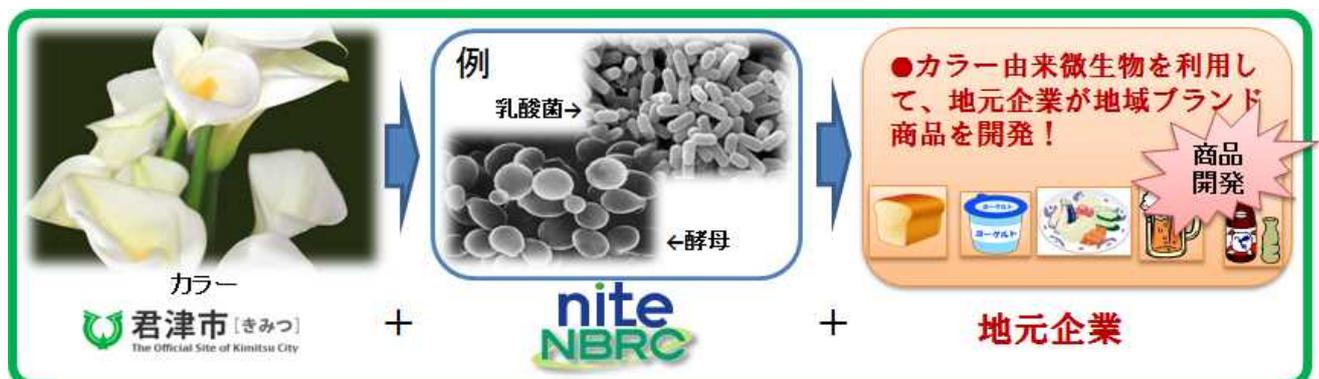
N I T E 地方創生への取組を支援

～まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく、
千葉県君津市の地方創生事業を支援し、地域経済を活性化～

N I T E (ナイト) [独立行政法人 製品評価技術基盤機構 理事長：辰巳 敬、本所：東京都渋谷区西原二丁目49番10号] は、N I T E が保有するバイオテクノロジーを活用して、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地方創生事業を支援しています。

この度、千葉県君津市が策定した地方創生への挑戦事業である「きみつ食の彩りプロジェクト」を支援することとなりました。

1. N I T E バイオテクノロジーセンター (NBRC) は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進するため、これまで培ってきた微生物等の生物遺伝資源の探索、分離・同定技術を活用して、千葉県君津市と共同で「きみつ食の彩りプロジェクト『カラー工房 (酵母)』」を実施します。
2. ウェディング産業などで用いられるカラー (花き) の出荷量日本一である君津市は、「きみつ食の彩りプロジェクト『カラー工房 (酵母)』」において、新たな地場特産品や名産品群の開発を行う予定です。NBRCは、カラーから酵母等の微生物を探索することで、その微生物を活用した製品による地域経済活性化と地域イメージの向上を支援し、地方創生に貢献します。



《補足説明》

政府は、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、地方創生を推進しており、経済産業省では、地域資源の活用、農商工連携、6次産業化、ふるさと名物支援などの支援制度をととして地域活性化を推進しております

NBRCは、平成14年から千葉県木更津市において、微生物等の生物遺伝資源を収集・保存し、企業等に安定的に供給することにより産業活動を支援しています。また、国家戦略に基づき、これまで国内外の様々な環境から微生物等の生物遺伝資源の探索、分離・同定してきた技術を活用し、地方創生に取り組む自治体、公設試験研究機関、企業等と連携しながら、バイオテクノロジーを活用した地域産業の活性化を支援しています。

●NITEの地方創生への取組み事例

○岩手県釜石市

- ・釜石市、北里大学感染制御研究機構釜石研究所、釜石・大槌地域産業育成センターと共同で、市の花「はまゆり」から酵母を採取。
- ・地元企業オリジナルのはまゆり酵母を使ったハンバーガーがF-1復興グランプリで優勝。
- ・さらに、地元企業は、2019年ラグビーワールドカップ開催地として釜石市が決定したことにちなみ、ラグビーボール型パンを開発中。

○岩手県二戸市

- ・二戸市「にのへブランド海外発信事業」実行委員会、岩手県工業技術センターと共同で、国産漆の生産量日本一である浄法寺漆由来微生物を活用し、にのへブランドを海外へ発信。

【お問い合わせ先】

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）
バイオテクノロジーセンター所長 能登 靖



担当 産業連携推進課 地域連携室 高橋
電話 : 03-3481-1972
FAX : 03-3481-1962
メールアドレス : bio@nite.go.jp